

インプラント治療の手順

1 口腔内診査・治療計画・精密検査

担当医によってインプラント治療に必要な診査を行います。ご自身の口腔内の状態やレントゲン写真を基に、まずインプラント治療が可能かどうか検討します。そして、可能であればその後詳細な治療計画を立てて実際の治療へと移行します。

2 術前処置

インプラント治療を行う前に、必要な口腔内環境を整えるための治療を行います。むし歯の処置や歯周病の治療などがあります。

3 歯科用インプラントの埋入手術

歯科用インプラント(人工歯根)を顎の骨に埋入する手術を行います。

4 治癒期間

基本的に歯科用インプラントは、骨としっかり結合されるまでの治癒期間が必要です。その治癒期間は、おおよそ下顎で3カ月、上顎では6カ月を必要とします。

5 アバットメント(歯の土台)の取り付け

アバットメント(歯の土台)の取り付けを行います。状況に応じて簡単な手術が必要な場合もあります。

6 人工の歯の作製

歯科用インプラントの部分を含めた口腔内全体の印象採得(型取り)を行い、失われた歯の部分を作製していきます。作製後人工の歯をアバットメント(歯の土台)に装着して完成です。

7 メインテナンス

歯科用インプラントを長期間安定して使い続けるためには、適切なホームケアと定期検診によるプロフェッショナルケアが不可欠です。担当医の指示に従い、適切なメインテナンスプログラムを実施してください。

インプラント治療



Q 誰にでも治療は受けられますか?

A 年齢的に顎の骨が完成する20歳前後から、健康な方であれば基本的に誰でも治療を受けることができます。ただし、全身疾患をお持ちの方や、妊娠中の方などはインプラント治療を受けられない場合がありますので、担当医にご相談ください。

Q 手術の際に入院が必要ですか?

A 基本的には入院の必要はありません。ただし、特殊な症例の場合や、全身疾患をお持ちの患者さんの場合には入院して手術を行うこともあります。

Q 治療期間はどのくらいかかるのですか?

A インプラントを埋入した部位や個人によって差がありますが、4ヶ月から7ヶ月程度の治療期間が必要となります。

Q インプラントはどのくらいもちますか?

A 患者さんのお口の中の衛生管理に大きく関係してきますので、お口の衛生状態が悪いと長持ちしません。常に衛生状態を良好に保ち、担当医や衛生士の指導に従っていただくことが大切です。

Q 治療費はどのくらいかかりますか?

A 現在は保険治療の適用にはなっていません。埋入するインプラントの本数など治療の内容により異なりますので、詳しくは担当医にお聞きください。

詳しい説明をご希望の方は、当医院にお気軽にご相談ください。

弥生台マノア歯科
院長 塩田尚弘
TEL 045-435-9666

日本歯科インプラント器材協議会のホームページもご覧ください

インプラント協議会

検索

インプラント治療のご案内



あなたのお口の状態に合わせた治療法

インプラント治療とは



インプラント治療を行うと…

デンツプライシロナ インプラント

当院では、研究開発力と長期安定性に関して世界中で高い評価を得ている“デンツプライシロナ インプラント”ブランドを採用しております。

何らかの理由によって失われてしまったご自身の歯の代わりに、歯科用インプラントを土台として人工の歯によって補う治療法です。

口腔内の状態は個人によって異なるため、各個人の状態に沿った治療計画を立てて治療を進めていきます。現在、日本では保険治療の適用になっていません。

① 歯を1本失った場合



治療前



治療後

失った部分にインプラントを1本埋入します。従来は、健全な両隣の歯を削ってブリッジを用いて治療していましたが、インプラントを用いると健全な歯を傷つけることなく治療を行うことができます。

② 歯を複数本失った場合



治療前



治療後

従来は局所的な入れ歯を用いて治療を行っていましたが、インプラントを何本か用いて治療を行います。入れ歯を固定するための金属のバネによる違和感はもちろんありません。

③ 歯を全て失った場合



治療前



治療後(可撤式)



治療後(固定式)



従来の総入れ歯ではなくインプラントを用いて治療します。この方法なら食物が入れ歯と口腔粘膜の間に挟まったり、入れ歯が合わなくなるようなことはありません。